



賛成討論する石田議員

7日、品川区議会本会議で、日本共産党を代表して石田ちひろ議員が、区民から提出された羽田新ルート反対を求める2本の請願の賛成討論を行いました。

濱野区長がすでに二年前に国土交通省に出向き、新ルート容認の意向を表明していたことが明るみに出ていることもあり、区民の強い関心もあり、本会議場いっぱい40人を超えるたくさんの区民のみなさんが傍聴しました。

石田議員の賛成討論を紹介します。

日本共産党品川区議団 立場で討論を行います。

を代表して、平成29年請願第13号は、「羽田新第13号・14号に賛成の増便の新低空飛行ルート

による品川区内の運動公園への騒音などの影響に関する請願」で、新飛行ルートで航空機が大井フッケー競技場上空を通過することになると「騒音が懸念される」と、国際ホッケー連盟などが対策を求めている報道を受け、新飛行ルート直下にある区内の運動公園を利

用する区民や関係者にも計画の説明をするよう国交省に求めるものです。

また請願第14号は、「品川区として羽田空港への新ルート見直しを政府に求める請願」で、続発する航空機トラブルや落下物事故を受けて、住民を危険にさらす新飛行ルートを見直すよう、区として政府に意見表明を求めるものです。

行革委員会の請願審議で区は、運動公園について、まだ計画の段階で、影響の推測は大変難しいと繰り返すだけで、想定される影響は何も答弁されませんでした。また新飛行ルート見直しについても「区民の不安の払拭を国に求める」と今までと変わらない答弁を繰り返すだけでした。

濱野区長が2年前すでに、国土交通大臣のところで出向き、羽田新ルートを「国策として甘受する」と表明していたことを、区が認めました。



請願賛成は、全議員の3分の1の12人

超低空飛行反対の請願は、議長を除く議員37人のうち共産7人、ネット2人、無所属3人の合計12人が賛成しましたが、自民、公明、民進が反対。賛成少数で不採択となりました。初めて傍聴した方も含め、傍聴者からは、反対した議員に厳しい怒りの声が上がっていました。

濱野区長が、区民と区議会をあざむき、 国に羽田新ルート「容認」表明をしていた ことは重大な背信行為。国に撤回を求めよ 区議会で、反対請願の採択を 共産党の石田ちひろ議員と、品川生活者ネットの 吉田ゆみこ議員が請願に賛成討論を行いました。

どちらの請願も賛成少数で不採択となりましたが、現在、この新飛行ルートに対し多くの区

民の方が恐怖と怒りを抱えています。この本会議での採択を訴えます。

まず初めに、タウンミーティングでの区長の問題発言について述べます。

区長は11月11日のタウンミーティングで、新飛行ルートは「オリンピック成功のためにはインバウンド（訪日外国人旅行客）を充実していくという国の政策として理解する」、「国策として甘受する」と国交大臣に伝えた、そして「品川区に対し別のメリットを示すことを交渉している」と発言しました。行革委員会の審議で区は、区長のこの発言内容が事実であることを

認め、さらに区長が国交省に自ら出向いて交渉したのは「おとし」と説明。つまり二年前に新ルート容認を国交省に伝えていたことが明らかになりました。

これは大変重大です。2014年8月、国土交通省から品川上空を巨大旅客機が低空飛行する計画が発表されて以降、区民からは「反対を求める請願」が10数本提出され、私たちも毎議会でも区長に対し、国に撤回を求めるよう迫ってきました。区は「区民の不安払しょくを国に求める」、「了承したわけではない」と繰り返し、国が品川区に対し

区長は、国との交渉の全容を区民に明らかにせよ

区長の最大の責任は、区民の命と安全を守ることを。国への容認表明を撤回し、新ルート計画に反対を

日本共産党



明らかにすることを求めます。区民の不安の声は急速

に高まっています。2020年は目前です。本当に品川上空を飛んでしまいません。騒音、落下物、墜落、大気汚染、資産価値の低下、など品川にとってメリットどころか百害あって一利なし。これらを甘受するなど到底できません。「区長が反対すれば計画

環境対策を発表した際も「これで了承したわけではない」と答弁してきました。ところがタウンミーティングでの区長の発言は、これまでの説明を全面的に否定するもので、二年も前から、区民と議会を欺き続けてきたことを明らかにしたものです。これは許しがたい重大な背信行為です。

また区長は、区民と区議会に、11月11日のタウンミーティングで話したことの全容、つまりいつ国交省に行つたのか、何を話に行つたのか、その際提出した文書はあるのか、求めたメリットとは具体的に何かなど、

また、多くの区民の声をこの計画に「安全」はありません。国策であっても、区民の命と暮らしを犠牲にする国策には、区民を代表する私たち議員が反対の声をあげるべきです。

議員が、立場、党派を超えて、区民の安心・安全を守り抜こう

また、多くの区民の声をこの計画に「安全」はありません。国策であっても、区民の命と暮らしを犠牲にする国策には、区民を代表する私たち議員が反対の声をあげるべきです。

また区長は、区民と区議会に、11月11日のタウンミーティングで話したことの全容、つまりいつ国交省に行つたのか、何を話に行つたのか、その際提出した文書はあるのか、求めたメリットとは具体的に何かなど、

品川区はこれまで、羽田増便のための新飛行ルート案は「あくまで国の問題であり、品川区としては区民の不安を払しょくするために丁寧な、きめ細かな説明を求めている」という態度を通してきました。しかし、最近頻発する重大インシデ

生活者ネットの吉田議員は「命に代わるメリットは想定できない」と、賛成討論を行いました。(二部を紹介しします)



賛成討論する吉田議員

しかし、先日のタウンミーティングでの区長の発言では「国策だから甘受する」と明言しました。これまで議会に対する答弁は根拠のないものであったことが明らかになりました。

のであれば、品川区民にとってのメリットを提示してもらいたいと交渉し、国交省からメリットの提示を約束していただいたというのですが、区長は何を想定してメリット

区民の不安が一層増していることは大いに共感するところ。区議会としても区から根拠のない答弁を受け、国土交通省からは意見書の内容に対する検討もされてないことが明らかになった以上、これらの請願を採択して区議会としても意思表示をすべきです。もし、このまま計画が実行され、万が一の事態があった場合、容認してきた議会の責任も区民から問われます。